

令和6年度 第2回 村櫛小学校学校運営協議会 会議録（要点記録）

- 1 開催日時 令和6年10月31日（木） 13時30分から16時00分まで
※途中でクラブ活動見学（14：40～15：00）
- 2 開催場所 村櫛小学校 3階 会議室
- 3 出席委員 徳増 久子、遠山 通夫、徳増 善幸、柴田 宜克、藤田 善人、小松 亘
- 4 欠席委員 松下 恵子
- 5 オブザーバー 藤田 伸幸（村櫛幼稚園園長）
- 6 学 校 今田 徹（校長）、宮本 直子（教頭）、鈴木 亨（教務主任・CS担当職員）、
吉田 真季（CSディレクター）
- 7 教育委員会 鈴木 陽子（教育総務課）
- 8 傍聴者 なし
- 9 会議録作成者 CSディレクター 吉田 真季
- 10 議長の選出

議長は前回会議（第1回）の経緯より、徳増善幸委員が務めることを申し出、全員異議なくこれを承認した。

11 協議事項

- （1）前回会議録の確認
- （2）学校運営に関する熟議
- （3）学校の運営に必要な支援活動に関する熟議
- （4）報告（学校支援コーディネーター）

12 会議記録

司会の宮本直子教頭から、委員総数7人のうち5人の出席があり、過半数に達しているため、会議が成立している旨の報告があった。

（1）前回会議録の確認

令和6年度第1回会議議事録の内容について確認をした。

（2）学校運営に関する熟議

- ①鈴木亨教務主任から、今年度力を入れてきたことや困っていること、いじめ・不登校等の生徒指導に関する諸課題について説明があった。委員から、以下の発言があった。

・いじめや登校をしぶる現在の状況を教えてほしい（徳増善幸委員）

→いじめを原因とする不登校の児童は現在いない。数名が登校をしぶる状況で理由は様々（教務主任）

・登校をしぶる児童達への対応を教えてほしい（柴田宜克委員）

→カウンセラーや相談機関と連携し児童の様子をみたり、保護者と対応について共通理解をしたりしながら進めている（教務主任）

・庄内学園へ新入学生が行きたい理由を教えてほしい（徳増久子委員）

→同じ幼稚園・保育園の友達が庄内学園へ入学するので学区外申請をして村櫛在住の子ども達も入学してしまう。自治会からの対応が難しくなっていており、「活力ある地域」ではなくなっている。村櫛幼稚園の放課後保育があれば入学者数が増えるのではないかと（遠山通夫委員）

②鈴木亨教務主任から、学校評価に関する中間評価の結果について説明があった。委員から、以下の発言があった。

- ・絵本と読書は別物で読み聞かせの取り組みが素晴らしい（柴田宜克委員）
- ・読書において学校としてはどれぐらいを目指すのか（徳増善幸委員）
 - 7～8割の生徒が読書を好きとアンケートで答えてほしい（教務主任）
- ・図書委員が色々な取り組みをしている印象を受ける（徳増善幸委員）
 - へちまの本も購入し、読み聞かせの取り組みをしているクラスもある（教頭）
 - 読み聞かせボランティアは年間20回してもらっている。本大好きカードをリニューアルし、朝読書の日課の確保もしている（校長）
- ・算数が好きのアンケートの数値が低い理由を教えてください（徳増善幸委員）
 - 高学年になると難しくなるので個の差が大きくなる（教頭）

③今田徹校長から教育目標、目指すこどもの姿等の令和7年度の学校経営方針について「優しい」を続けたいと説明があった。委員から、以下の発言があった。

- ・学校でいう「優しさ」って何ですか（徳増善幸委員）
 - 今年度は「村櫛ふわっと」を合言葉とする優しい気持ち。相手も自分も嬉しくなるような、心がほんわかする「ふわっと」する気持ちは何か自分で考えるよう子ども達に話している。
 - 自分は教え合う、協力し合う、そしてやり遂げるだと思う（徳増善幸委員）
 - 読書をもっとベースに入れて、相手や物事に対して状況を理解して「優しさ」を発揮できると思う（徳増久子委員）

（3）学校の運営に必要な支援活動に関する協議

宮本直子教頭より令和6年度の支援活動（へちまプロジェクト）の途中経過について説明があった。委員から、以下の発言があった。

- ・「へちまでスポンジを作ってみましょう」だけではない印象を受ける。色々な人と関わって、子ども達自身から疑問が生まれて解決していく。地域でもへちまだなが見られ小学校の取り組みが広がっている（徳増善幸委員）
- ・へちまプロジェクトと同様な関わりが出来そうな地域の人探し、場所探しなどに尽力していくようにしたい（徳増善幸委員）

（4）報告（学校支援コーディネーター）

徳増善幸委員より学校支援コーディネーターの活動及び研修会の報告があった。

その他の報告事項等

宮本直子教頭から、次回会議は令和7年2月14日（金）午後1時20分から3階会議室で開催する旨の報告があった。なお、協議内容については、「学校運営協議会の自己評価」であることが示された。第3回議長の選出について、徳増久子会長から徳増善幸委員を推挙する旨の発言があり、全員異議なくこれを承認した。